



カラーでご覧になりたい方は、錦小HP「学校だより」<http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/>までHPでは、学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

## 興味津々！どのクラブに入ろうかな？～3年生クラブ見学～

来年度からクラブ活動に参加する現在の3年生を対象に1月28日（木）にクラブ見学を実施しました。現在活動している4、5、6年生にとっても、この1年間の成果を発表する、よい機会とあって、部長さんが中心となって、クラブの特色と魅力を分かりやすく伝えていました。3年生は、どのクラブに心を惹かれたのでしょうか？

今年度中に新しく作ってもらいたいクラブの設置希望調査などを実施し、新年度になってから参加するクラブを決定することになります。



パソコンクラブ



理科クラブ



室内レク クラブ

## 昔の遊びをしてみたよ！！ ～1年生活科の体験学習～

1年生の生活科の時間では、現在、「おじいさん、おばあさんとなかよしになろう」という単元の学習を行っています。単元のねらいは、『伝統的な遊びの楽しさを味わうとともに高齢者の優しさや知恵に気付く。』『昔の遊びのやり方やルールを工夫して遊んだり、体験して分かったことや感じたことを友達に分かりやすく伝えたりすることができる。』『地域の高齢者の方と進んでふれあい、友達と仲良く昔の遊びをしようとする。』の3点です。

例年であれば、錦地区老人クラブの皆様の協力を得て、高齢者とのふれあい活動をとおして、学習を進めることができますが、今年度は、新型コロナの感染防止のため、残念ながら児童だけの活動となりました。

1月25日（月）には、体育館で、竹とんぼや羽根付き、あやとり、お手玉など、昔遊びの体験活動を行いました。学校では、ボールやブランコなどの遊具で遊ぶことが多い1年生ですが、今回は、ふだん経験しない遊びばかりで、最初のうちは悪戦苦闘でしたが、少しずつコツをつかみ、楽しめるようになってきました。



# おじゃまします！！教室訪問 ～5年0組～



第12回目は、5年0組を訪問しました。今回は、社会の時間にお邪魔しました。

本時は、「情報を生かす産業」という単元（学習のまとめり）の第2時間目で、『コンビニエンスストアでは、POSシステムやポイントカードなどからの情報をもとに、売れた品物の種類や数、客の性別、年齢等の情報を入手したり、天気や地域の行事などの情報を活用したりしながら商品の発注や商品開発をしていることが分かる。』をねらいとして行われました。

まず、授業の最初では、あらかじめ黒板に整然とかいておいた単元の学習問題『コンビニエンスストアでは、情報をどのように活用してはん売の仕事をしているのでしょうか。』を児童に注目させるとともに、前時までの学習内容からのつながりを確認していきました。学びのつながりを意識させ、学習への見通しをもたせる『主体的な学び』の実現への配慮がなされています。

次に、「皆さんはコンビニエンスストアで何を買いますか？」と問いかけ、本時の学習内容について興味・関心を高める働きかけを行いました。児童達は、「おにぎりを買います。」「飲み物を買います。」「カードを買います。」との発言があり、日頃、多くの児童が利用していることが分かりました。また、コンビニエンスストアでは、食品をはじめ、様々な日用品が揃っていることを確認していきました。

さらに、コンビニエンスストアの店舗数の棒グラフを提示し、「これを見てみましょう。こんなにコンビニは増えていますね。私たちの身近なところにもありますね。」と店舗数が増えていることや児童達の身近なところであり日常生活の中で利用していることを確認し、児童が自分の生活や地域社会と結び付けて学習内容を考えられるような『自分と結び付ける』という『主体的な学び』の実現への配慮ができていました。

それから、学習問題の予想の活動に入りました。先生は、2枚の写真を提示し、「この写真を見たり、自分の生活経験を思い出したりしながら、コンビニエンスストアで情報がどのように活用しているのかを予想しましょう。」と投げ掛けました。

児童達は、「レジでは、お客さんが買った金額を打たないで、機械でバーコードを読みとることで、売れた商品の情報の記録ができると思います。」「タブレットでどんな商品がいくつ売れたかななどを調べて、それをこれからの商品を並べるときに利用するのだと思います。」「バーコードなどから集めた情報で新たな商品を開発するのに生かすのではないかと思います。」というような予想を進んで発表しました。発表の活動をしているときに児童の様子を見てみると、友達の発表を聞きながら、自分の考えを ⊕、友達の意見・考えを ⊗ という記号を付けてしっかりとノートに記録している児童が多く見られました。互いの考えを比較するという「対話的な学び」が実現できていると感心しました。さらに、先生は、児童の気付きや発言のよさを取り上げ称賛し、児童達の学習意欲をさらに高めていました。

そうした予想を立てた後、調べる活動に入りました。児童達は、教科書や資料集をじっくりと読み込みながら、学習問題に対する必要な情報を選択して調べ、分かったことをノートにまとめていきました。

どの児童も熱心に集中して活動に取り組むことができていました。調べる活動の終了後は、4人グループになり、調べて分かったことについて一人ずつ発表し合い、情報の共有化を図りました。児童達は、自分がまとめたノートを見せながら分かりやすく発表しようと頑張りました。

最後のまとめでは、コンビニエンスストアやその本部では、POSシステム等を使って、商品の発注や新商品の開発に情報を活用していることを理解していきました。授業全体をとおして、熱心に粘り強く学習に取り組む児童達の姿が大変印象的でした。

先生は、青少年赤十字や募金等の福祉教育の担当としても活躍しています。先生とともに、5年0組の児童達がこれからもさらにぐんぐん力を付け、より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。



※ 読みやすさを考え、教員の呼称は、「教諭」ではなく、「先生」とさせていただきます。

※ ホームページ用の学校便りでは、不特定多数の方の目に触れることもあるため、教職員の名前は、イニシャルにし、顔写真は、イラストにしております。ご了承ください。